

【研究課題名】免疫染色とゲノム解析を用いた婦人科がんにおける腫瘍微小環境の検討

このたび当院では、入院・通院されていた患者さんの試料／診療情報を用いた標記研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まない患者さんは、その旨を『6. お問い合わせ先』に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 研究の対象となる方

①2006年1月～2028年9月30日の間に当院で婦人科がんの治療を受けられた方

②2006年1月～2028年9月30日の間に当院で子宮および卵巣の疾患に対して開腹手術・腹腔鏡下(ロボット支援下)手術を受けられた方のうち、子宮内膜増殖症、子宮内膜異型増殖症、子宮内膜症と診断された方

2. 研究目的・方法

目的：婦人科がんの再発予測因子を腫瘍微小環境の免疫学的特徴を含めて検討し予後予測の指標を探索する。

方法：当院で過去に手術を行った婦人科がん患者と非がん患者（子宮内膜症を有する）の組織検体に免疫染色での評価とゲノム解析を行う

研究実施期間：研究機関の長の許可日 ～ 2029年03月31日まで

情報の利用を開始する予定日：公開から14日後

3. 研究に用いる試料・情報の種類等

研究に用いる情報：年齢、病歴、腫瘍の大きさ、血液検査の値、合併症、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等

研究に用いる試料：手術で摘出された組織（卵巣、子宮、卵管等）や過去に採取した血液等

本研究に用いる情報は診療録から必要な情報を収集し、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、研究責任者が個人情報を厳重に保護し、当院のみで使用し他の研究機関への提供はしません。また、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

4. 試料・情報を利用する者の範囲

研究責任者名 山梨県立中央病院 婦人科 部長 坂本育子

婦人科 内田光紀、松田康祐、野崎敬博、加々美桂子

収集した情報は当院婦人科でのみ利用し、情報については個人情報が特定されないように情報管理責任者（研究責任者）が厳重に保管します。

5. 試料・情報の管理責任者

山梨県立中央病院 婦人科 内田光紀

6. お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。また、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

連絡先：研究責任者：山梨県立中央病院 婦人科 坂本育子

研究分担者：山梨県立中央病院 婦人科

内田光紀、松田康祐、野崎敬博、加々美桂子

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号

TEL：055-253-7111（代表）